

花の楽園田代山

【山行日】 2014年7月21日

【集 合】 小山 5:00

【メンバー】 CL 高崎、IK、仙石、福村あ、福村と

【コースタイム】

小山 5:00＝那須塩原 IC＝道の駅たじま＝北側駐車場(トイレ)＝猿倉登山口 8:00/8:20・・・

小田代湿原 9:40・・・湿原入口 10:15・・・田代山 10:25・・・田代山避難小屋 10:50/11:30・・・

猿倉登山口 13:30＝小山 17:15

当初は帝釈山まで登る予定であったが、登山口までの所要時間が想定よりかかることがわかり、急遽田代山往復に変更した。

車が福島県に入ると空は一変し一面の雲に覆われていた。湯ノ花温泉を過ぎると山道になり、距離の割に時間がかかった。猿倉登山口の駐車場はほぼ満車に近かった。

コースが短縮されたのでゆっくり登って行っただが、どうしても遅れがちになる人がでてきた。先頭を歩く人は全体のスピードを調整する責任があり、さらにゆっくり歩いた。しかし、自分の速さから極端に遅く歩くと精神的にも肉体的にも少ししんどくなる。最近トップを歩くのが少ないからと反省した。

黙々と歩くと自然と一体になっていった。花を見つけては立ち止まり、成長が進んだギンリョウソウの写真撮ったりした。小田代にでると小さなタテヤマリンドウが出迎えてくれた。田代山は山頂が湿原になっていて多くの花が咲くことで有名である。しかし、ニッコウキスゲは盛りを過ぎ鮮やかなオレンジ色の花はちらほらとしか咲いていなかった。ワタスゲの綿毛は白さが失われ、チングルマは果穂になって湿原を覆っていた。残念、今年はもう少し早くくればよかった。それでも湿原の中で咲いているサワラン、キンコウカ、モウセンゴケ、イカリソウなどを探しては写真に納めた。花を心ゆくまで楽しんでから、空腹を満たすため昼食場所の避難小屋に向かった。新しいトイレとベンチが設置されていた。

小田代からの道は岩の道であるが、登りは支障なく通過した。しかし、下りになると岩が苦手な人がかなり遅れだした。ここでも私の足の置き方を参考にして下ってもらったところ、自分で探すよりも楽に速く歩

けるようになった。那須で試した方法だが、岩の道初心者には有効と思われた。

岩が終わる頃に雨が急に降り出してきた。雨具をきてザックカバーを付け、久しぶりに雨の中を歩いた。水場の沢の音が聞こえるとすぐ駐車場についた。車に乗ると青空が広がった。梅雨明けは近い。

高崎 記

